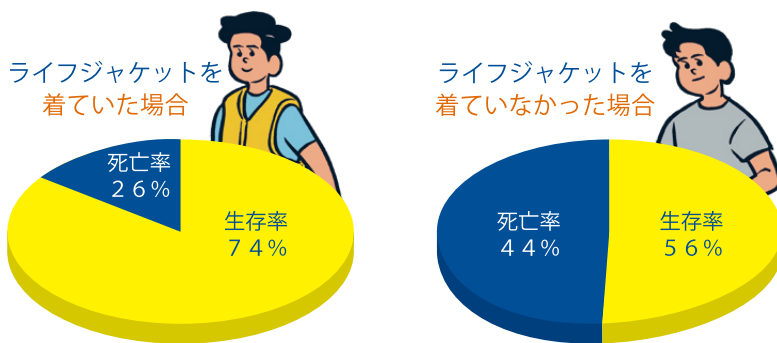




## ライフジャケットは いのちにやさしいジャケット



楽しい水辺、海、川、池、湖。そんな水辺で、ときに人のいのちを奪う事故が起きています。水の事故を減らす1つの手段としてライフジャケットを着るという選択肢があります。ボートから海に転落した場合のグラフ（下のグラフ）の通り、ライフジャケットを着ると、着ていない場合に比べて生存率が約2倍も高くなります。ライフジャケットを着ることで沈むことなく、呼吸困難におちいるのを防ぐのはもちろん、水中につかる面積を少なくすることで体温の低下を遅らせてくれたり、発見を早めてくれます。頭や体を打ちつけて、自由に体を動かさせないときも、ライフジャケットを正しく着ていれば、体は浮きます。自分や家族、子ども、友人など、大切にしたいいのちにライフジャケットを。



ライフジャケットを着ていた場合、生存率が約2倍

海中転落者のライフジャケット着用率及び死亡率  
海難の現況と対策（令和3年）より作成



## 参考：水辺に行こう チェックシート



ライフジャケットは水辺で安全に楽しむための1つの手段です。下記のような注意や備えをして水の事故を未然に防ぎましょう。

- ✓ 天候の変化に注意する
- ✓ できるだけ複数人で水辺へ近づく
- ✓ 水に入る前には準備体操をする
- ✓ 遊泳禁止区域では遊ばない
- ✓ 体調のわるい時や、飲酒後は水に入らない
- ✓ 適度な休憩をとり、決して無理をしない
- ✓ 水辺にいる子どもから目を離さない
- ✓ ライフジャケットや、浮き輪は壊れていないか確認する
- ✓ 熱中症を防ぐために、水分、塩分や帽子を準備する
- ✓ 防水パックに入れた携帯電話を所持する
- ✓ 海でのもしもは「118番」（海上保安庁）
- ✓ 川や湖でのもしもは「119番」（消防署）

